

写真とはまことに不便なものだと思  
う。はるばる阿蘇や九重、天草まで行っ  
ても一旦空が曇れば撮影中止、天候回復  
まで二、三日待つか引き返すしかない。  
というのは、曇天のカラー写真は発色  
が悪く、とてもお見せ出来るような写真  
にはならない。それに、たとえ快晴で絶  
好の撮影条件であつ



## 観光地とPRと写真

小松 哲也

(写真家)

たとしても、被写体  
の前や横に電柱や電  
線、それに旗竿など  
がちよっとでもはい  
れば、もうその場所  
からは写しても無益  
なのである。

とって風景写真の場合、撮影位置を  
変えるには左右に何キロも移動しなけれ  
ばならない。移動することは何でもない  
ことだが、それらの邪魔物が被写体の直  
前にでもあろうものなら、もうお手上げ  
である。

こんなとき、絵画の場合は省略という  
ことが出来るが、写真はあまりにすべて  
を克明に写し込んでしまうので、まこと  
に不便なものと言わざるを得ない。  
それにしても、人間の無神経さゆえに

壊されてゆく自然、そのためにおこる自  
然景観上の視野を自らせはめる結果にっ  
いて誰も、気にはならないのだろうか。  
「やまなみハイウエー」が開通した  
頃、城山のヘヤピンカーブを前景にした  
写真がよく使用された。それは阿蘇とハ  
イウエーを結ぶ観光写真の原型ともいえ

る構図で、その一帯は全国の出版社の撮  
影地のポイントとしてメモされていた  
が、一年もたたぬうちに展望所の突端に  
小さな茶店が出現した。それによって撮  
影してもその小屋が画面に入るため、そ  
の美しい風景は二度と写せなくなり、撮  
影地リストから除外され、阿蘇とハイウ  
エーの観光PRのマイナスになってしま  
った。  
瀬の本高原の雄大な高原美なども出来  
るだけ分断しないように心がけてほし

い。このような美しい自然のなかで人工  
造形は、その形や色彩をよくよく考え自  
然の一部として存在するよう配慮しても  
らいたいものだ。  
草千里から火口噴煙を写すとき一番気  
をつかうのが、電柱、電線をいかに隠し  
て撮影するかということである。しかし

新しい写真を撮るためには同一場所から  
の撮影はさげねばならない。新しいア  
ングルを探しあてると必ずといってよい  
ほど電柱や電線が画面に入ってくるので  
ある。

阿蘇は世界的な観光地としてのキャッ  
チフレーズを打ち出しているのに、この  
数本の電柱のため新しい阿蘇が紹介でき  
ぬとしたら、これも観光PRのマイナス  
につながるものだろう。阿蘇に限らず観  
光地の電線は、その景観をさまたげる部

分だけでよいから地下ケーブルにしても  
らいたい。

昨秋、高森から湯の平(たいら)へ入  
り根子岳の紅葉を撮りにいった。北から  
見るやや平板な根子岳と違い、南からの  
根子岳はなんと魅力に満ちた山であるう  
か、深く切れ込んだ山肌は立体的で全山  
紅葉に映える姿はまったく素晴らしい。  
さて、写そうと思つて、ひょいとその山  
裾を見たとなん張りつめていた撮影意欲  
がぐにやぐにやと潰れてしまった。何と  
そこに、もっともらしく旗竿が三本コン  
クリートの台に立っているではないか。  
ここはキャンプ場であるので、そのた  
めの旗竿である……とあとで聞いたが、  
たった一つのその台のために、この素晴  
らしい景観がこわされてしまった。

南阿蘇の観光開発が盛り上ってきた昨  
今、一日も早くこの台は南の林の方へ移  
すべきだと思う。

阿蘇の自然が崩されてゆくなかで、せ  
めて南阿蘇だけは自然の美しさを永久に  
とどめておきたい。自然のなかにいる時  
だけが、もっとも人間が人間らしくなる  
ときなのである。

その自然の中に異質な物を持ち込まぬ  
ことこそ、本当の観光地のあり方なので  
はないだろうか……。

## 昭和60年の

## くまもとの姿

県計画がめざす将来のくまもとの姿はどのようなものか。  
有明海の上空からながめると、まず海をいに有明臨海、八代臨海の二大工業  
地帯が北から南へ伸びる。その中央部にあたるのが、中枢都市熊本。背後地の  
内陸工業地帯や空港、そしてこれらの都市をつらぬいて新幹線と自動車道が走  
り、さらに不知火の美しい内湾や天草の島々にはオレシズベルトと一体となっ  
た海のレジャー基地が点在する。  
一方、海から九州山脈へ向うてひろがる平野部には整然と区画された耕地に  
大規模な機械化農業がいと生まれ、その遠景に阿蘇高原の畜産基地と球磨の緑  
の山々がつかつらなってみえる。

イラスト 藤 周平

